

平成21年度 施政方針



新袋井市の誕生以来、まちの将来像である「人も自然も美しく 活力あふれる 日本一健康文化都市」の実現に向け、多くの市民の皆様のご理解とご協力により、順調に市政を進めてまいることができました。

さて、100年に一度の経済危機と呼ばれる状況の中、我々地方自治体への影響も例外ではなく、法人市民税の大幅な減収や雇用情勢の悪化による生活不安が表面化しています。

このような中、今、袋井市として行動しなければならぬことを整理し、その役割を果たすとともに、袋井市の特長や特質を生かし、将来を見据えたまちづくりを実施してまいります。

〈平成21年度施政方針のキーワード〉

「くらしやすい環境づくり」

◇快適な生活環境と自然環境に配慮した都市基盤が整備され、その上で、福祉や医療サービスが充実し、災害に強く、安全で安心した生活空間（社会）が築かれているまちを目指します。

「地域がにぎわうしくみづくり」

◇既存産業の革新や新たな産業の創出、確かな知識と知恵を身に付けた、たくましい人材が育ち、地域産業が活性状態にあるまち、市の財政基盤を支える地域経済がにぎわっているまちを目指します。

「市民の力を活かしたまちづくり」

◇これまで培われてきた「市民の力」と自然や歴史、伝統文化などの「地域の力」を活かし、市民、地域、行政がともに支え合い、力を合わせて発展するまちを目指します。

平成21年度のまちづくりのキーワードと重点テーマ

まちの将来像「人も自然も美しく 活力あふれる 日本一健康文化都市」の実現を戦略的に目指します。

■くらしやすい環境づくり

1 子育て応援体制の充実	保育所待機児童の解消と保育環境の向上を図ります。
2 暮らしの安心の確保	将来にわたって安心できる質の高い医療の確保と市民が安心して暮らせる生活基盤を整備します。
3 地球への思いやりの向上	市民と事業所と行政がそれぞれの役割分担の下に「エコタウンふくろい（環境負荷の少ない循環型社会）」を推進します。
4 市民防災力と災害即応力の向上	静岡県・袋井市総合防災訓練を機に、市民、事業所、行政の防災意識の向上を図ることで、大規模災害発生時にも揺らぐことのない防災力と即応力を高めます。
5 治水対策の推進	蟹田川・沖之川・小笠沢川流域の浸水被害の解消を目指します。

■地域がにぎわうしくみづくり

1 “農”を活かした新たなまちづくり	本市特有の豊かな農地と温暖で日照時間の長い気候、活発な企業活動などを組み合わせて、時代に合った新しい視点でまちづくりに挑戦します。
2 緊急経済対策による地域産業の振興	雇用や消費など市民の生活を支える地域産業の持続性を高めます。
3 地域産業イノベーションの推進	農業、工業、商業などの地域産業が抱える課題を、産、学、官の連携により解決を目指します。また、様々な業種、分野間のつながりにより事業展開を図ることで、地域産業の活性化を図ります。

■市民の力を活かしたまちづくり

1 健康的な生活習慣の定着・促進	生活習慣病を予防するため、健康的な生活習慣の定着・促進を図ります。
2 市民参加の促進	袋井市の未来に向けて、まちづくりへの市民の積極的な参加を促進します。
3 地域活動の拠点づくり	公民館の地域活動拠点としての強化を図ります。

問 企画政策課企画係
☎ 44-3105

平成21年度の主な事業

1 生涯にわたって健康な市民を育むまちづくり

- ① 自らつくり、守り、みんなで支える健康づくりの推進
 - 引き続き「健康チャレンジ!!すまいる運動」を、地域や学校、関係団体、事業所などと連携して推進します。
 - 「特定健康診査・特定保健指導」の充実をはじめ、健診後の効果的な健康教育の開催や多くの市民が受診しやすい健診体制を整えるなど、早期発見、早期治療に向けた二次予防を推進します。
- ② 高齢者がいきいきと暮らせる環境の整備
 - 地域の高齢者の総合相談や支援窓口である市内4箇所の「地域包括支援センター」の運営を充実・強化します。
 - 「介護力向上講座」を実施することともに、75歳以上のひとり暮らし高齢者世帯を対象に「ひとり暮らし実態調査・訪問指導事業」を行います。
 - 高齢者が楽しく生きがいをもって暮らしていけるよう、老人クラブ活動への支援や福祉サービスなどの強化・充実に取り組みます。



③ いつでも安心な医療環境の充実

- 全力を挙げて、医師確保に努めるとともに、新病院の建設に向けて、着実に取り組みます。
- 市医師会や袋井薬剤師会、警周歯科医師会の協力をいただき、救急医療体制の充実に努めます。
- 救護所や公民館における地域医療救護訓練の実施、「医療救護補助協力者育成事業」の実施により、災害時の医療救護体制の強化を図ります。

2 互いを認め合い尊重する共生のまちづくり

- ① だれもが尊重され住みやすい共生社会の形成
 - 外国人児童・生徒が速やかに日本の教育になじめるよう、「初期支援教室」や「支援員による教育支援」を充実します。
 - 性別にとらわれることなく、お互いを尊重し、共に個性と能力が発揮できるよう男女共同参画社会の推進に取り組みます。
 - すべての人が安心して快適に生活できるようユニバーサルデザインの一層の推進に努めます。
 - 低所得者に対しては、国民健康保険税や介護保険料の軽減措置を講じるほか、社会福祉協議会や民生委員・児童委員と連携して取り組みます。
- ② 障害者の自立と社会参加の促進
 - 障害のある人の自立を図るため、引き続き授産所や共同作業所に対して

③ 災害に強いまちづくり

- 支援します。
- 障害のある人や家族を支援するため、在宅福祉サービスの充実を図ります。
- 「早期療育施設の整備」についての協議を進めるとともに、並行通園や親子教室を行う「児童・ファミリーサービス事業」の開始に向けて準備を進めます。
- 療育に関わる職員の知識と技術の向上を図ることで、しっかりとした支援体制をつくりみます。
- 障害のある人が社会参加しやすい環境を整備します。

3 災害に強いまちづくり

- ① 治水・治山対策の推進
 - 常襲的な浸水地域の解消を目指して、「治水対策事業」を継続して実施し、浸水被害の軽減を図ります。
 - 洪水ハザードマップを活用して、浸水想定区域の周知に努め、市民の災害対策意識の高揚を図ります。
 - 「急傾斜地崩壊対策事業」を引き続き実施し、県と連携して土砂災害の防止に努めます。

- 「グリーンウエーブキャンペーン」を実施することともに、保安林の保全を県へ積極的に働きかけます。

③ 地震対策の推進

- 「静岡県・袋井市総合防災訓練」を機に、市民、事業所、行政の防災意識を高めます。
- 「応急仮設住宅整備計画の作成」により、大規模災害時の住宅確保の円滑化を図ります。
- 「浅羽北小学校屋内運動場の改築」を行い、市内すべての学校施設の耐震化を完了させます。
- 「わが家の専門家診断事業」を行うほか、新たに「住宅耐震化相談支援事業」を実施し、住宅の耐震化を促進します。

4 安心して暮らせるまちづくり

- ① 防犯対策の推進
 - 警察や地域、家庭、学校などと連携した防犯活動に努め、自治会の要望などに基き防犯灯の設置を進めます。
 - 「防犯まちづくり推進事業」を引き続き推進することともに、子どもたちを犯罪被害から守るため、「スクールガードボランティア」の養成を推進します。
 - 袋井警察署の平成23年春開設に向け、県に協力して取り組みます。



②交通安全対策の推進

・交通安全会や警察、学校、地域と一体となつて交通安全運動を実施し、特に高齢者の事故に対する交通安全対策に取り組みます。

・危険箇所へのカーブミラーや防護柵、信号機や歩道の整備を進め、交通事故の防止に努めます。

③防火対策と消防体制の充実

・防火意識の啓発と指導を行い、迅速な消火活動が展開できるように、常備消防と消防団、自主防災隊との連携の強化に努めます。



・市内各所への耐震性防火水槽の設置、消防団の消防ポンプ自動車の更新など資機材の充実を図ります。

5 利便性が高く快適に暮らせるまちづくり

①質の高い快適な生活空間の創出

・「景観条例」と「屋外広告物条例」の制定に向け、引き続き取り組むとともに、「緑の基本計画」を策定します。

・「建築基準法指定道路調査」を引き続き実施するとともに、地域の道路整備を地元の皆さんと一緒に考える「協働によるまちづくり事業」を試行的に実施します。

・市街地の整備や、安心して通行できる道路の建設を促進するため、引き続き土地区画整理事業を推進します。

・墓地公園の整備に向け、候補地を絞り込むための地元調整を進め、整備促進を図ります。

②利便性の高い交通ネットワークの構築

・袋井駅南北自由通路や南口駅前広場のアクセス道路の新設などの「袋井駅周辺整備事業」を計画的に進めます。

・幹線道路の整備を推進するとともに、国道1号の高架化・4車線化、国道150号バイパスの早期整備を引き続き強く国、県に対して要望します。

・森町袋井インター通り線建設促進期成同盟会を設置し、早期整備を促進します。

・民間バス路線の維持・存続を図り、自主運行バスの見直しや利用率、利便性の向上を図ります。

③みんなが憩える水辺・公園・緑地の整備

・緑地の保全や緑化の推進に関する基本計画となる「緑の基本計画」を策定します。

・（仮称）大日ぼたるの里公園、「久野城址」など地域の特色を生かした公園整備や地域コミュニティの拠点となる公園の整備を引き続き推進します。

・ごみ処理施設周辺の公園や田原西の公園の整備に着手するとともに、三川地区の公園用地の取得に向けて取り組めます。

・整備された公園が大切に管理され、十分に活用されるよう、地域における公園愛護活動を促進します。

④安全な水の安定供給

・上水道の施設整備を計画的に進めるとともに、安全で安心な水道水を効率的・安定的に供給します。

・検針、徴収、開閉栓等の包括業務委託」を検討するとともに、「水道料金等統合改定」を推進します。

6 人と自然にやさしい環境を育むまちづくり

①環境への負荷の少ない持続可能な地域社会の形成

・「環境基本計画」や「バイオマスタウン構想」に基つき「エコタウンふくろい」の実現に向けた取り組みを実行します。

・「環境活動モデル地区推進事業」や「環境教育・環境学習実践事業」などにより、地球温暖化防止対策を進めます。



・（仮称）袋井市環境保全基金」の創設に向け、取り組みます。

②公共用水域の保全

・公共下水道と農業集落排水、合併処理浄化槽を効果的に組み合わせ、河川の水質浄化を推進します。

・浄化センターの管理運営に関し、包括的民間委託の導入について、調査・研究を進めます。

③衛生的な生活環境の確保

・環境教育や啓発活動を通して、環境

美化意識の高揚に努め、環境美化運動の一層の推進を図ります。

・市内の企業との「環境保全協定」の締結や「環境保全資金利子補助制度」の活用を推進するとともに、企業における環境保全意識の高揚を図ります。

7 多彩な産業が織りなす活力あふれるまちづくり

①魅力ある農業の振興

・「農業振興ビジョン」を策定します。

・地域農業創出のためのアドバイザーの活用、「農業法人化セミナー」の開催、「市民農園整備事業補助制度」、退職者などの新規就農の促進などで農業の振興を図ります。

・春岡地区と山崎地区の「経営体育成基盤整備事業」を実施します。

・「農地・水・環境保全向上対策事業」を推進し、農地や農業用水などの農業資源と農の景観の保全に努めます。

②楽しさにぎわいにあふれる商業の振興

・「にぎわい新都心まちづくり計画」に基づき、市街地の形成に向け取り組みます。

・袋井駅周辺地区については、「中心市街地活性化基本計画」の国の認定を目指し、活性化事業に関する調査・研究を行います。

・国本地区については、地元関係者との協議や農業調整などの調査・研究を行います。

・意欲ある新規事業者の育成と併せて



第1回ものづくりフェスタ

「中心市街地空き店舗対策事業」を実施します。

③豊かな生活を支える工業の振興

「産業立地事業費補助金」などの優遇助成制度を充実し、企業が立地しやすい環境を整えます。

「小笠山麓開発調査事業」を引き続き実施し、開発の手法や区域について調査します。

中小企業の経営基盤の強化を図るため、商工団体等関係機関と連携し、融資制度を通して中小企業の体質強化に努めます。

「地域産業イノベーション推進事業」を引き続き推進します。

④多くの人が訪れにぎわう観光の振興

観光案内所を拠点に関係機関と連携し、さらなる観光振興に努めます。

ウオーキングステーションの整備に取り組むなどウオーキングメッカの推進に努めます。

「ふくろい遠州の花火」や「ものづくりフェスタ」などを引き続き支援するとともに、新たに「全国B級グルメスタジアム」や「東海道ごまん中茶屋10周年記念イベント」を支援し、地域の活性化と産業振興を図ります。

8 将来を担う人間性ゆたかな人を育むまちづくり

①子どもを生み育てやすい環境の整備

「特定不妊治療費」や「妊婦健康診査費」、「乳幼児医療費」の助成など、引き続き子育て支援を推進します。

「袋井南保育所増築事業」、「(仮称)市中央部保育所新設事業」、「(仮称)愛野幼児園研究調査事業」などを推進します。

幼稚園の預かり保育を9園で実施(2園増)するとともに、預かり保育の時間延長を試行します。



「たんぼぼ保育園施設整備事業」への補助や認可外保育施設などへの運営支援、施設型の病後児保育事業を引き続き実施します。

②心ゆたかな若者の育成

家庭や学校、地域が連携を図りながら、地域の特色を生かし、創意工夫を凝らした「德育推進事業」を引き続き実施します。

「山梨幼稚園建設事業」や「今井幼稚園増築事業」、「浅羽北小学校屋内運動場改築事業」により教育環境の充実を図ります。

「放課後子ども教室」を、「放課後児童クラブ」と連携しながら引き続き実施します。

9 市民の生きがいを育むまちづくり

①多様な市民活動の支援

NPOやボランティア活動の普及啓発に努めます。

協働まちづくりセンター「ふらっと」への運営支援を引き続き実施します。

「協働まちづくり事業」を充実し、NPO法人やボランティア団体など市民活動団体との協働を推進します。

②心が通い合う地域コミュニティの形成について

自治会未加入者や新規転入者に対する加入促進活動を積極的に支援します。

「地域を明るくするコミュニティ活動事業」や「コミュニティ施設整備事業」、「浅羽北公民館増築事業」により各自治会の円滑な運営と地域コミュニティの強化に努めます。

「メロープシザ」の平成22年春の開館を目指して、整備を推進します。

③自ら学び自ら楽しむ芸術・文化・学習活動の推進

多彩な生涯学習活動に関する情報を広く市民に提供します。

各種講座の開催や「一館一徳運動」など、地域の特性を生かした公民館活動を支援します。

「第24回国民文化祭・しずおか2009スポーツ文化フェスティバルinFUKUROI」や「第30回世

界アマチュア囲碁選手権静岡大会」を機に、文化の向上を図ります。

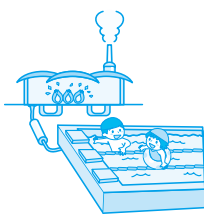
月見の里学遊館においては、指定管理者制度の導入により、市民の自主的な文化活動が促進されるよう引き続き支援します。

④だれもが楽しめる生涯スポーツの推進

市スポーツ協会や体育指導委員と連携してスポーツ教室を開催するとともに、家族みんなで気軽に楽しむことができるニュースポーツの普及拡大に努めます。

「JOCジュニアオリンピックカップ全国エアロビック選手権大会」を引き続き開催し、エアロビックのメッカづくりを推進します。

中遠クリンセンターの余熱を利用した温水プールや交流施設など、健康増進や地域の活性化につながる余熱利用施設の建設に、引き続き取り組んでまいります。



行政経営の基本姿勢

・使用料や手数料の見直しを含め、「徹底した行財政改革」に取り組みます。

・これまで以上に「情報公開」に努め、市民の皆様にも市政の想いを伝え、理解していただくことで、ご支援を得てまいります。